

図書館員のひみつの本棚 第 228回

今月は、かわいいこぶたの男の子が主人公の幼年童話を紹介します。

『こぶたのピクルス』 小風 さち／文 夏目 ちさ／絵
福音館書店(2015年) ¥1700(税別)

<お勧め年齢>

乳幼児☆☆☆ 小低学年★★★ 小中学年★★☆ 小高学年☆☆☆ 中学生☆☆☆
高校☆☆☆ 一般☆☆☆
(★が多い年齢の子どもにお勧めです)

<本の紹介>

かわいらしいこぶたの男の子、ピクルスが主人公です。学校へ行く朝、忘れ物チェックも万全！元気に家を出ますが、途中でいくつもお使いを頼まれているうちに、学校へ行くのを忘れて家に帰ってきてしまったり、卵を買いに市場へ行くと、買った卵でお母さんがどんな料理を作ってくれるのかを想像し、思わずうきうきジャンプして大量の卵を割ってしまったり。

素直で元気いっぱい、ちょっとおっちょこちょい。そんなピクルスの日常を描いた短いおはなしが4話収録されています。

<子どもに手渡す時のポイント>

温かく優しい色合いのさし絵が全点カラーで、ほぼ全ページに描かれています。ピクルスをはじめ、登場人物たちの表情が豊かで愛らしく、テンポよくおはなしが進むので、絵本から読み物への移行として手渡すのにおすすめの幼年童話です。また、ひとつのおはなしが短いので、朝読やすきま時間の読書としても良いでしょう。

続編として『ピクルスとふたごのいもうと』『ピクルスとともだち』があります。ピクルスが成長していく姿を子ども達と一緒に見守りながら、シリーズを読み進めていく楽しさを味わってください。



このコーナーで紹介した本はお近くの図書館や書店に置いてあります。ぜひ手にとってみて下さい。